

alaクルーズ

alaクルーズ交流会



1月26日（土）午後6時よりカテリーナ・ディ・アールにて交流会が開催されました。グループが違って日ごろ顔を合わせることが無いため、会食をしながら交流を深め、意見の交換ということで33名が参加しました。来賓には衛館長、箆橋局長、山口課長にご出席いただきました。席をくじ引きで決め和やかな雰囲気の中、澤野理事長の挨拶より始まりました。続いて、衛館長のお話を伺いました。「今年は新しいことをやります！」という抱負を述べられた後、「①中央の劇場の稽古場等を取材し報告会を行いス



キルアップを図りたい。②可児市で《もの（作品）》を創る。③市民ミュージカルをやりたい。」と、具体的に語られました。続いて乾杯の音頭のあと、テーブルに運ばれてくる豪華なディナーに皆、舌鼓を打ちました。この日はちょうど館長の61歳のお誕生日でもあり、ローソクが立った大きなケーキが用意され、見事に吹き消され拍手が起こり、この日の目玉になりました。そして今回は、2枚の宝くじが配られました。スクラッチ式の宝くじでは結果がその場でわかり、楽しいにぎわいがありました。もう一枚の宝くじは抽選日までわかりません。「楽しかった」、「始めて会った人とお話が出来てよかった。」など有意義な時間を過ごすことが出来ました。最後に副理事長の挨拶で終了しました。



alaクルーズのホームページをリニューアルしました。
一度ご覧ください。また、ご意見、ご感想をお寄せくださいませ！

ゴスペル&ジャズ



Vol.4

ala クルーズ・コンサート



平成 19 年 12 月 16 日 (日) 午後 1 時半 「ゴスペル&ジャズ Xmas Live～言葉は知らない癒しの旋律～」が開催されました。来場者は 239 名でした。兼松弘子 with 美濃加茂ゴスペルクアリア、トム兼松セッションを迎えて 3 部構成からなるコンサートは始まりま

した。最初にピアノのイントロが流れると満員の会場はシーンと静まりました。その後ゴスペルが始まると生命の躍動といったホットなステージとなり、静と動のメリハリの効いた構成に圧倒されました。ゴスペルとは福音という意味があり、奴隷として働いてきた人々を支えてきた力強い音楽です。非常に歌を重んじるということが映し出された歌詞に表れていたように思います。その歌詞を目で追いながら合唱する場面もありました。Oh happy day! (なんて幸せな日) 歌いながら幸せが近づいてくるような気がしました。第 2 部ではギターソロ演奏あり、トム兼松セッションによる絶妙な音の駆け引きあり、とバラエティに富むこの日の音楽は最高のクリスマス・プレゼントといえるのではないのでしょうか。



版画家・詩人 川上澄生の世界

川上澄生の世界



川上澄生の世界



12月19日より24日までギャラリーで「心にひびくものたち VIII『版画家・詩人 川上澄生の世界』展」が開催されました。シリーズで開催しています、「心にひびくものたち」は毎回、貴重な作品が展示され、各方面から注目を集めています。ケーブルテレビ可児をはじめ各新聞社からも多数の取材を受けるようになったのもその現われでしょう。川上澄生は1895年横浜生まれ、青山学院高等科を卒業。カナダ、アメリカに留学後、1921年に栃木県立宇都宮中学校（現宇都宮高等学校）の英語教師となりました。一方で版画を続け、日本現代版画の代表的版画家となります。棟方志功が版画家になる決意をしたのも川上澄生の作品がきっかけでした。南蛮、文明開化の彼の言う一種チグハグな文化を愛し、温かく、じんわりと湧き上がるユーモアに満ちた版画は愛好者も多いです。今回はある優れた蒐集家より託された澄生の貴重な書籍を、栃木県鹿沼市にあります川上澄生美術館に寄贈する前にお目にかけることとしたものです。なかでも限定部数で作製した版画入りの本は、一般の人の眼に触れる機会も少なく、貴重な展示となりました。この機会を見逃すまいと983名の方が来館されました。特に後半の3日間は連休で、主催者による解説も行なわれたため、これまでに無いほどの賑わいをみせていました。これからも、貴重な作品が展示されることを楽しみにしたいと思います。



主な陳列品

限定本…（多くは20部～40部発行）

青髯、変なりードル、ゑげれすいろは、少々昔噺、らんぷ、安土の信長、御朱印船、たばこ渡来記、時計、へっぴりよめご、横浜どんたく、あいのもしり
長崎、蛮船入津、横濱、南蛮諸国、あだんといわ 等、40数冊
版画…村童野球戯之図、蛮船図、南蛮ぶり、円卓武士、大谷秋景、偽版GIPANG古地図、牛肉店、らんぷと女 等
その他…木製品、装身具、肉筆画、ガラス絵 等

知立市文化会館（パティオ池鯉鮒）との交流会

平成19年10月20日（土）年1回の交流会が開催されました。先方は、19名出席、alaクルーズは財団を含め、17名が出席。パティオ・ウェブとalaクルーズの意見交換会が開催されました。知立の田んぼの真ん中に、威風堂々と構えているのが知立市文化会館です。意味のある中庭（パティオ）が4ヶ所あり、建物を邪魔しないように全体の建造物にとけ込んだ、素晴らしい文化会館が私達を迎えてくれました。係の人に



小ホールは、イスの移動が出来る多目的ホールです。当文化会館で伝統の文楽を、年1～2回公演されるそうです。会議は午前10時より開催され、最初に知立市文化会館の永井氏と薫田氏、丹羽理事長の挨拶がありました。永井氏より企画、広報、美・技術（音響・照明）、ホールの4部門の説明と、出席の担当者の紹介がありました。各4部門が、各々の持ち場を確認しながら、お互いに共有してひとつにまとめていくそうです。alaクルーズと違う点は、この知立市文化会館は、協会があり、世話人のメンバーで構成されて

いる事です。先方の説明が終わり、alaクルーズからは、澤野理事長が、文化センターの歩みと内容の説明をしました。そして財団の山口課長の挨拶について、寺松氏より、出席者の紹介がありました。午前11時より、質疑応答が始まり、各部門との活発な意見が飛び交い、和気あいあいとした交流会でした。会議終了後、大ホール（かきつばた一定員1004名）へ案内され、見学しました。ドアも少なくシンプルで落ち着いた感じの、劇場でした。知立市文化会館の皆さんと、親交を深め大変有意義な交流会でした。

支援G K



お知らせ
会員更新受付中 お早めに！
新会員も募集してますヨ。

編集後記

気分一新。alaクルーズのホームページを全面リニューアルしました！昨年暮れからホームページ委員会を数回開き、各グループからそれぞれメンバーが参加し「あぁでもない、こうでもない」と議論を重ね、試行錯誤の末、ようやく完成しました。これまでのホームページよりも情報が分かりやすく分類されて、使い勝手が随分良くなっていますので、是非一度チェックしてみてください♪ 今後は広報誌とあわせてホームページがalaクルーズの情報発信の基点としてますます活かさればいいなあと思う次第です

(H)

alaクルーズ事務局 TEL/FAX : 0574-61-3414
<http://www.kpac.or.jp/alacrews/>
 Mail : alacrews@kpac.or.jp

進め!
 (19)
 ほんだひし
alaクルーズ

